

## 三重県夏季ソフトボール大会

第1日 2016年 7月 24日 (日) 開催地: 三重県 鈴鹿市

### 《1回戦》 球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド野球場 No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:37	計	(球審)
スターズ	1	0	4	0	0	3	1	5回コールド	9	(一塁) 小野 誠
TOUGH	1	0	6	2	0	3	X		12	(二塁) 市川 正巳 (三塁) 山田 俊彦 (記録) 寺田 泰英 伊藤 健士

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●杉本 友彦 --- (捕) 濱 英治  
 後攻(投) ○前田 大雅 --- (捕) 中芝 寿幸  
 (本塁打) 中野 善之 (三塁打) \_\_\_\_\_  
 先攻 (二塁打) 堀 泰大, 濱 英治, 杉本 友彦, 大道 慎司  
 (長打) (本塁打) 福林 秀明, 松田 樹希也 (三塁打) \_\_\_\_\_  
 後攻 (二塁打) \_\_\_\_\_  
 (特出記録) \_\_\_\_\_

### 《準決勝》 球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド野球場 No. 2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:24	計	(球審)
旭化成	0	0	0	0	0			5回コールド	0	(一塁) 河合 岩夫
Campus	1	0	4	4	X				9	(二塁) 川辺 英明 (三塁) 尾崎 隆信 (記録) 北川 敏之 青木 操

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●飯田 圭亮 --- (捕) 青山 政光  
 後攻(投) ○稲葉 基浩 --- (捕) 安野 拓弥  
 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 先攻 (二塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) (本塁打) 駒野 洋平 (三塁打) \_\_\_\_\_  
 後攻 (二塁打) 稲葉 基浩  
 (特出記録) 満塁本塁打・駒野 洋平

### 《準決勝》 球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド野球場 No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:14	計	(球審)
TOUGH	2	0	0	0	0	0	2		4	(一塁) 寺田 泰英
カイバナ眼科エルムス	0	0	4	0	0	0	1X		5	(二塁) 小野 誠 (三塁) 市川 正巳 (記録) 山田 俊彦 永戸 雪弘

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●前田 大雅 --- (捕) 中芝 寿幸  
 後攻(投) ○小川 僚太 --- (捕) 豊島 勇  
 (本塁打) 梶尾 将 (三塁打) \_\_\_\_\_  
 先攻 (二塁打) 坂田 智彦, 梶尾 将  
 (長打) (本塁打) 藤川 博成, 小川 僚太 (三塁打) 道具 真之  
 後攻 (二塁打) 小川 僚太  
 (特出記録) \_\_\_\_\_

## 三重県夏季ソフトボール大会

第1日	2016年 7月 24日 (日)	開催地: 三重県 鈴鹿市										
<b>《決勝》</b>		球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド野球場 No. 4										
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	試合時間2:25	計	
<b>Campus</b>	4	0	0	0	3	0	0	2	0		<b>9</b>	(球審) 川辺 英明 (一塁) 尾崎 隆信 (二塁) 北川 敏之 (三塁) 河合 岩夫 (記録) 伊藤 健士
<b>カイバナ眼科エルムス</b>	0	0	0	6	0	0	1	2	1x		<b>10</b>	
										(バッテリー) [勝:○, 負:●]		
										先攻 (投) 桐生 陽介, ●稲葉 基浩 --- (捕) 山内 啓伊		
										後攻 (投) 道具 真之, 森 敦志, ○小川 僚太 --- (捕) 甚野 充範, 豊島 勇		
										(本塁打) (三塁打) 駒野 洋平, 山内 啓伊		
										(長打) (二塁打) 鈴木 雄地 (三塁打) 道具 真之		
										(本塁打) (三塁打) 道具 真之		
										(二塁打) 道具 真之②		
( 特 出 記 録 )												

**【決勝戦評】 カイバナ眼科エルムス、9回タイブレーカーを制し、優勝！！**

タイブレーカー8回に2点ずつ取り合って迎えた9回裏、カイバナ眼科エルムスは無死二塁から4番甚野充範が初球をセカンド強襲安打、二塁走者が判断良く一気に生還、サヨナラ勝ちとなった。

カイバナは3度相手にリードを許したが、4回代打豊島豊の中前2点適時打、7回には5番道具侑一郎の中前適時打、8回には相手エラーなどで驚異の粘りを見せ、逆転で優勝を手に入れた。

Campusは初回、5つの四死球を足掛かりに先制点を挙げ、5回には2番稲垣秀一・3番駒野洋平の連続適時打、8回にも5番山内啓伊・6番鈴木雄地の連続適時打でリードしたが、踏ん張れず惜しくも敗れた。



カイバナ眼科エルムス(松阪支部)←



Campus(津支部) ↑